

平成21年度 第6回 (9月) 理事会議事録

- 日 時 平成21年9月10日(木) 午後6時30分～8時20分
- 会 場 社団法人大阪府臨床検査技師会事務所
- 出席者 今井、運天、竹浦、吉本、高田、大垣、清水、
荒木、高橋、井戸田、出野、山田、宮野、酒井、
栗本、山西、小宮山、東野、村上(岩崎)
- 欠席者 田畑
- 議 長 今井

【討議内容】

I 行動報告 (8月分)

- 8月6日 理事会
今井、運天、竹浦、大垣、清水、荒木、
田畑、出野、山田、宮野、酒井、栗本、
山西、小宮山、村上
- 7日 学術部会
竹浦
- 8日 献血
竹浦、清水、田畑、荒木、山西
- 8日 日臨技認定一般試験WG会議
今井
- 9日 日臨技認定一般試験WG会議
今井
- 11日 渉外部会
清水
- 11日 マタニティーカーニバル2009反省会議
(テレビ大阪)
田畑、栗本
- 12日 近臨技臨時会長会議
今井
- 14日 大阪府看護協会豊田会長と面談
今井
- 16日 仏語圏アフリカ臨床検査技術コース
「ジョブレポート発表会」
今井、山田
- 19日 総務・会計部会
運天、吉本、荒木、山田
- 20日 情報組織部会
運天、竹浦、井戸田、小宮山、酒井、山西
- 20日 地区事業部会
田畑、出野、栗本、運天、竹浦
- 22日 近臨技病理細胞検査部門研修会
今井
- 25日 大阪府庁 公益法人相談
運天
- 25日 金山昭平様告別式
今井
- 26日 常務理事会
今井、運天、竹浦、吉本、荒木
- 26日 糖尿病療養指導士定例勉強会
小宮山
- 29日 近臨技会長会議
今井
- 29日 近臨技理事会
今井、運天、竹浦、荒木
- 29日 日臨技近畿地区連絡会議
今井、運天、竹浦、荒木
- 29日 近臨技OB会
今井、運天、竹浦、荒木

II 経過報告

1. 日臨技

- 8月19日に「臨床検査値の基準値設定」調査への協力要請があり、基幹施設に依頼した。
- 8月22日に日臨技名誉会員の金山昭平元会長が逝

去された。

- 8月29日に日臨技地区連絡会議および会長を囲む夕べを開催した。

2. 近臨技

- 8月12日に臨時会長会議を開催し、富永氏の日臨技副会長立候補について相談した。
- 8月22日に病理細胞検査部門研修会が開催された。
- 8月29日に理事会を開催した。
 - ① 平成20年度事業報告、決算報告および平成21年度事業計画案・予算案が可決された。
 - ② 仏語圏アフリカ臨床検査技術コースは平成22年度の5年目をもって終了する。
 - ③ 公印取り扱いの取り決め案が承認された。
 - ④ 第50回近畿医学検査学会の概要について報告があり、50周年記念事業をすることが承認された。
 - ⑤ 日臨技役員選挙で副会長に立候補した富永氏を近臨技として推薦することを決定した。
(大臨技としての推薦については、他候補者が全部出揃ってから決めることとする。)
 - ⑥ 3月29日開催の近臨技臨床化学検査研修会の生涯教育履修登録ミスの報告があり参加者にお詫びすることとした。

3. 公益法人移行委員会

- 8月26日に委員会を開催した。
- 大阪府から送付された下記書類について検討した。
 - ① 定款変更に関する立案趣旨確認
 - ② 基本情報
 - ③ 事業の一覧
 - ④ 公益目的事業の概要

4. 事務局

- 〈総務部〉
 - 8月19日に部会を開催した。
 - 「年輪V」の完成報告および発送先について検討した。
 - 「大臨技会報」の作成について検討した。
9月中旬に完成予定である。
 - 大臨技HPへの求人情報掲載について検討した。
 - 大臨技ニュース8月号を発行した。
 - 大臨技ホームページを更新した。
- 〈会計部〉
 - 8月19日に部会を開催した。
 - 7月度収支決算書を作成した。
 - 日臨技へ7月分会費の送金を行った。
- 〈渉外部〉
 - 8月11日に部会を開催した。
 - 第31回献血推進活動(8月8日)の反省および、日臨技報告用資料の作成を行なった。
 - 受付84名、採血者62名であった。
 - 第1回乳癌健診推進活動の運営について説明を行った。
 - 府民健康フォーラムについて打ち合わせを行った。
 - 9月1日に合同フォーラム第2回会議の準備を行った。
 - 手話講演会について打ち合わせを行なった。12月5日に大阪府教育会館たかつガーデンにて開催予定。講師は多田京子氏に依頼した。

5. 事業局

- 〈情報組織部〉
 - 8月20日に部会を開催した。

- 11月7日開催予定の戦域部会について内容を検討した。
- 12月19日開催予定の検査運営研修会について内容を検討した。
- 2月20日開催予定の技師長会について内容を検討した。
〈地区事業部〉
8月20日に部会を開催した。
- テレビ大阪においてマタニティカーニバル2009についての反省会があり、その結果をもとに、今後の方向性を話し合った。
- 9月26日(土)の会員交流会について話し合った。
〈学術部〉
8月7日に部会を開催した。
- 学術部の活動について自由討論を行った。

Ⅲ 他、報告

1. 第5回府民健康フォーラムについて(清水理事)
 - 「日常生活からがん予防を考える」をテーマに講演を行う。
講師は、薬剤師会より山村万里子氏、栄養士会より中野忠雄氏、大臨技は尾羽根範員氏が担当する。司会は泉浩実氏が担当する。
2. 第15回大阪病院学会からの協力要請について
 - 10月4日に開催される標記学会から大臨技に座長依頼があり、竹浦副会長と高田常務理事に座長を依頼した。
3. 日本医療マネジメント学会大阪支部第3回学術集会について
 - 標記学会より一般演題募集についての協力要請があったため、学会内容および演題募集をホームページと大臨技ニュース10月号に掲載した。
4. 日臨技基準値の設定について
 - 日臨技より基準値設定のためのアンケート調査の依頼があり、基幹施設に調査を要請中である。
5. その他
 - ① 携帯端末の調査について(吉本常務理事)
各部保有の携帯端末の台数と機器番号を調査し、10月1日までに吉本常務理事に報告をすることとする。
 - ② 糖尿病療養指導士定例勉強会について(小宮山理事)
 - ●●新聞社より事前申し込みがあり、8月26日に行われた糖尿病療養指導士定例勉強会において、受講者に対し取材が行われた。取材目的は、活動の経緯およびこれからの展望の把握であった。掲載日は、9月11日である。
 - 日臨技事業の世界糖尿病デーイベント(11月開催)の検査コーナーにおいて、大臨技作成の小冊子「糖尿病と検査」を作成し、配布することについて承認を得た。作成部数は1,000部の予定としたが、健康展等他の大臨技行事においても配布をしたいという要望があったため、増やすこととした。
 - ③ データ標準化について(山西理事)
平成21年度の参加施設は、メーカー10社、施設79施設であった。部会において、この参加施設の施設名を公表してはどうかとの意見があり、これを受け理事会で検討した。検討の結果、希望する施設については、大臨技ニュースに掲載することとした。
 - ④ 8月8日開催の第31回献血推進活動の報告書および決算書を日臨技に提出した。9月4日開催の乳癌健診推進活動の報告書は作成中である。
 - ⑤ 今後の日臨技公益委託については、日臨技常務理事の森嶋氏が窓口となる。
 - ⑥ 合同フォーラム会議において、今回は乳がんをテ-

- マとすることが決まった。
- ⑦ ICLS第1回および第2回のアンケート結果を、第58回日本医学検査学会(横浜)で報告した。大臨技ニュースにも掲載予定である。
- ⑧ 9月26日開催の会員交流会の参加申込が少ないため、各施設での参加を募るよう要請があった。
- ⑨ インフルエンザ感染防止に関するインフォメーションを、大臨技ホームページおよび大臨技ニュースに掲載することとした。

Ⅳ 議題

1. 大臨技ロゴマークの使用方法について(竹浦副会長)
 - 封筒、名刺、旗について、新ロゴマークに変更し作成する必要がある。
 - バッジは、50個作成する。
 - 大臨技ニュースは、10月号より新ロゴマークに変更するとともに、新ロゴマークへの変更についての案内を掲載する。
2. ホームページへの求人情報掲載について(吉本常務理事)
 - 8月の理事会決定事項を基本とし、総務部でシステム化することについて検討し、情報掲載までの流れ、実際の掲載画面設定等について資料を作成した。この資料を基にした説明後、意見を募った。
 - 当理事会での意見を考慮し、再度、総務部で検討を加え求人情報掲載システムを早期に構築し稼働することとした。
3. その他
 - 技師会活動参加中の事故等の補償について(運天副会長)
 - 来年度から各部の企画費に予算で挙げることをする。
 - 大臨技主催の事業に関して事業別に保険の加入をする。